

平成26年度予算見積調書

課室名 警察本部 会計課
担当名 予算係

内線 2234

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B1	大宮警察署等統合庁舎建設費（3か年継続事業第1年次・国庫補助事業）			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	大宮警察署等統合庁舎建設費（継続事業第1年次支出額）			
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	警察法			戦略項目分野施策	010401	防犯対策の推進と捜査活動の強化			
1 事業の概要	老朽・狭あい化が著しく、耐震性が十分でない大宮警察署庁舎及び科学捜査研究所庁舎と警察本部内の鑑識課を移転統合した警察施設の整備を行う。 (1) 継続費分 466,787千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 継続費分 庁舎建設費（3か年継続事業第1年次分） 466,787千円 イ 建設概要 ・所在地：さいたま市大宮区北袋町1丁目地内 ・敷地面積：11,000.15㎡（隣接道路拡幅予定分約1,000㎡含む） ・庁舎規模：鉄骨鉄筋コンクリート造 7階 約12,000㎡ ウ 建設コンセプト ・災害に強い庁舎：代替災害対策本部スペース・給油施設・非常用発動発電機等の設置 最高度の耐震性（構造耐震指標0.9相当）を確保 ・長寿命化による低コスト庁舎：目標耐用年数100年を想定した設計 ・環境・省エネに配慮した庁舎：地中熱利用システム・太陽光発電設備・雨水利用システムの設置 (2) 事業計画 総事業費 9,116,489千円 ・平成24年度(9月補正) 用地取得 2,863,280千円 ・平成25年度 調査設計 202,788千円 ・平成26～28年度 庁舎建設 5,918,421千円(3か年継続事業) ・平成28年度 現大宮警察署庁舎解体 132,000千円 (3) 事業効果 県民サービスの向上と犯罪や災害における県民の安全・安心が一層強化されるとともに、災害時のリスク分散を図ることで県警察の災害対策機能の強化を進める。 また、首都圏の災害時のバックアップを担うに相応しいさいたま新都心において、国等の機関との災害活動の連携強化が図られ、県民の安全・安心を脅かす危機や災害にも対処できる体制が確保される。 (4) 統合施設の現況 ア 大宮警察署庁舎：さいたま市大宮区、昭和50年9月建設(38年経過)、敷地面積7,017㎡ 耐震性能ランクⅡ(構造耐震指標0.37) イ 科学捜査研究所庁舎：さいたま市浦和区、昭和42年12月建設(46年経過)、敷地面積6,492㎡ 耐震性能ランクⅡ(構造耐震指標0.58) ウ 本部鑑識課：県庁第二庁舎8階、使用面積530㎡							
2 事業主体及び負担区分	(国5/10・県5/10)										
3 地方財政措置の状況	普通交付税（包括算定経費） 5 建設事業費 その他の建設事業費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員											
要求額・審査額		国庫支出金	県債					一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	466,787	98,839	362,000					5,948	263,999		202,788
要	466,787	98,839	362,000					5,948	263,999		うち一財
前	202,788		194,000					8,788			8,788

【審査の考え方】

施設の老朽・狭あい化、耐震性の状況及び災害対策の観点から、移転統合し改築する必要性を認め、要求額を措置した。

平成26年度予算見積調書

課室名 警察本部 会計課
担当名 予算係

内線 2234

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B3	岩槻警察署庁舎建設調査設計費			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	岩槻警察署庁舎建設調査設計費			
事業期間	平成26年度	根拠法令	なし				戦略項目 分野施策	010401 防犯対策の推進と捜査活動の強化			
1 事業の概要 老朽・狭あい化が著しく、耐震性が十分でない岩槻警察署庁舎を現地に建て替えるための調査設計を行う。 (1) 庁舎建設調査設計費 139,235千円 (2) 仮設庁舎経費 10,247千円 (3) 敷地内水路切廻し経費 1,461千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 庁舎建設調査設計費 岩槻警察署庁舎の調査設計 139,235千円 イ 仮設庁舎経費 仮設庁舎の調査設計 10,247千円 ウ 敷地内水路切廻し経費 岩槻警察署敷地内水路（市有地）等の測量・分筆 1,461千円 エ 建設概要 ・所在地：さいたま市岩槻区大字岩槻5106番地（現在地改築） ・敷地面積：6,402㎡ ・庁舎規模：鉄筋コンクリート造 4階 約6,000㎡ オ 仮設庁舎概要 ・所在地：さいたま市岩槻区大字岩槻字西原二5071番地他3筆 ・敷地面積：5,104㎡ ・借上建物：軽量プレハブ造 2階 約1,800㎡ カ 建設コンセプト ・災害に強い庁舎：最高度の耐震性（構造耐震指標0.9相当）を確保 ・長寿命化による低コスト庁舎：目標耐用年数100年を想定した設計 ・環境・省エネに配慮した庁舎：太陽光発電設備・雨水利用システムの設置 (2) 事業計画 総事業費 3,629,566千円 ・平成26年度 調査設計等 150,943千円 ・平成27年度 旧庁舎解体 82,473千円 ・平成27～30年度 仮庁舎借上 321,182千円 ・平成28～30年度 庁舎建設 3,074,968千円 (3) 事業効果 県民サービスの向上と有事における県民の安全・安心が一層強化される。 (4) 現庁舎の概要 岩槻警察署庁舎：昭和50年11月建設（38年経過）、耐震性ランクⅡ（構造耐震指標0.40）							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） 5 建設事業費 その他の建設事業費											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員											
要求額・審査額		県債						一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	150,943	130,000						20,943	150,943		
要	150,943	130,000						20,943	150,943		うち一財
前	0							0			

【審査の考え方】

施設の老朽・狭あい化、及び耐震性の状況から、改築の必要性を認め、要求額を措置した。

平成26年度予算見積調書

課室名 警察本部 会計課
担当名 予算係

内線 2233

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B38	非常勤職員の増員			一般会計	警察費	警察管理費	警察本部費	一般行政費
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	警察法	戦略項目分野施策			010401	防犯対策の推進と捜査活動の強化

1 事業の概要
本県警察官の業務負担は過重で、依然として厳しい状況が続いており、非常勤職員による警察業務の補完が必要不可欠となっている。
そのため、非常勤職員を配置することにより、警察官の過重な業務負担を軽減し、県民の安全で平穏な生活を確保する。

(1) 遊技機調査員増員経費 12人 40,980千円

2 事業主体及び負担区分
(県10/10)

3 地方財政措置の状況
普通交付税（単位費用）
(区分) 警察費 (細目) 警察管理費
(細節) 警察職員費
(積算内容) 相談員等

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

5 事業説明

(1) 事業内容
遊技機調査員の増員経費 12人 40,980千円
ぱちんこ遊技機等の変更承認申請件数の増加に対処するため、申請のあった遊技機の実地調査等を専門に行う調査員を新たに増員配置する。

(2) 現状
ぱちんこ業界における営業競争の激化により、不正改造を施した違法遊技機の設置を通じて不当な集客や収益を図ろうとする営業者が後を絶たない。
一方で、インターネットカフェの無許可営業やガールズバー等、新たな形態による営業の実態把握や取締り等を進めることが喫緊の課題となっている。

(3) 必要性
パチンコ遊技機等の変更承認申請は近年増加傾向にあり、警察署生活安全課の業務負担が増大している。
既存の体制では遊技機の実態調査を円滑に行いつつ、新たな形態による営業に対する取締り等を推進することが困難となっていることから、ぱちんこ遊技機等の実地調査等を専門的に行う新たな非常勤職員の配置が必要である。

区分	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25 (見込み)	H26 (見込み)
件数	11,064	14,978	15,009	13,662	16,251	16,373	16,496	16,620
H15比(%)	—	35.4	35.7	23.5	46.9	48.0	49.1	50.2

(4) 効果
・遊技機の実地調査の業務負担が軽減される。
・遊技機調査業務に従事していた警察官を新たな形態による営業の実態把握や取締り等に対応させることができる。

要求額・審査額		諸収入					一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	40,980	4,733					36,247	△ 16,479	23 43,408 (38,727)	57,459
要	40,980	4,733					36,247	△ 16,479	24 50,020	うち一財
前	57,459	6,520					50,939		(44,558)	50,939

【審査の考え方】
遊技機調査における業務負担の増大による非常勤職員の配置の必要性を認め、要求額を措置した。